

かささぎ



北京日本人学校
学校通信 第2号
令和2年5月29日
校長 栗本 和明

新年度のご挨拶

北京日本人学校運営理事会
理事長 佐藤 啓介

令和2年度 北京日本人学校 運営理事会の理事長に就任いたしました、トヨタ自動車株式会社 北京事務所の佐藤と申します。北京には昨年12月に正式赴任したばかりですが、実は1998年1月から5年ほど北京に駐在していました。今回は2回目の駐在です。そのときは、長男がこの学校に在籍して、私も保護者として学校の行事に数々参加していたので、学校には懐かしい思い出が多々あります。

さて、学校の新年度は、新型コロナウイルスの疫禍のなかで始まりました。世界の他の国や地域はまだまだ予断を許さない状況ですが、ここ北京では暖かさともに、街中の人が増え、賑わいを取り戻しつつあります。

とはいえ、学校はまだ5月末時点で中学部3年生の登校再開が厳密な管理のもと許可されているのみで、日本からの新任の先生も赴任を果せておりません。そして、多くの児童生徒が、日本から戻ってくることができなかつたり、北京にいながらも新年度の登校が依然叶わなかつたりしています。このような状況を受けて、学校は、登校再開に向けて当局に働きかけをするとともに、最新のIT機器やアプリを活用したオンライン授業の導入に取り組んできました。

すべてが初めての取り組みで、しかも限られた人的リソースのなか、学校の先生の方々は、通常よりも高い品質の授業を実現しようと休みを惜しみ、日夜汗水を流してオンライン授業の立ち上げに尽力されていました。

さらに、登校再開にあたっては、学校の先生、職員の皆さん総出で、毎日のように下される当局の細かな指導、指示に迅速に答えて、何とか登校再開に至りました。今後の有事に備えての体制は、さらに厳格に運用することはあっても、緩めることは当分できず、厳格な管理のもとでの登校再開のステップを徐々に踏んでいくことになろうと思います。

インフルエンザとは比べものにならない、予想もしなかった大きな変化が、学校の現場で起き、それに対応するため、ほとんどが初めての試みで、試行錯誤を繰り返しながら、学校は少しずつですが、着実に前に進んでいっています。この変化はしばらく続き、オンライン授業も短期的な対応では済まないような気がしてなりません。

理事会は、校長先生をはじめとする学校の先生方と緊密な連携をとりつつ、学校の地道な取り組みをサポートしていく所存です。毎日が試行錯誤の繰り返しですから、当然、失敗は起きます。それでも、今は失敗を恐れず、この大きな変化に果敢に対応していくことが何よりも大事だと認識しています。

保護者の方々におかれましても、このような状況下で次々と打ち出される学校の新しい取り組みや施策に対して、戸惑い、驚き、そして疑問を感じられることがあろうかと思えます。常に皆様のことを念頭に置きながら、学校と理事会とでは協議を続けていますが、時には目線や立場を同じくするという観点が抜け落ちることが出てくることもあろうかと思えます。その際は、ぜひとも率直なご意見を学校や理事会にご提出ください。学校運営理事会には父母会長もおられますので、常時情報を共有できる場（とはいってもWeChat等ですが）を構築しましたし、今後は、保護者の方々の声を直接お伺いする場も設けていき、可能な限りの対応に心がけたいと考えております。ご意見そしてご提案をお待ちしております。

最後になりますが、この異常事態で、入学式や運動会の場で皆様に直接ご挨拶することが叶っておりません。ぜひ異常事態が早急に解除され、皆様の健やかなる笑顔に直接向かい合う機会に恵まれることを祈っております。

1年生のニュース

小学部 1年生



春の暖かい日差しの中行われたオンライン入学式から1か月が過ぎました。1年生の皆さんと直接会うことはできなかったのですが、画面を通して顔を合わせ、元気な姿を見ることができ嬉しく思いました。また、一人ひとりの元気な返事からは、これから始まる小学校生活への期待を強く感じました。

オンライン授業を始めてもう1か月となります。授業を始める前は、パソコンなどを子どもたちが上手く操作できるのか心配していましたが、子どもたちの機器操作のみ込みの早さに驚きました。さすが北京日本人学校の1年生！1か月经つと、初めは緊張していたなかなか話すことができなかつた子どもオンライン授業にだんだんと慣れてきました。真剣な表情でひらがなを書いたり、大きな声で発表したり、友達の話をするはずきながら最後まで聞いたり、子どもたちの素敵な姿を見る機会も多くなりました。そんな一生懸命に頑張る1年生を頼もしく思います。この1年でたくさんを経験して、心も身体も大きく成長してほしいです。画面の向こうで頑張っている子どもたちに、学校で会える日を楽しみにしています。

【生活科】アサガオの芽が出ました！どのような成長を見せてくれるのか楽しみです。オンラインで子どもたちと観察をしていきます。



事務局のまど

5月11日に中学3年生の登校が始まりました。1月24日以来、3か月半ぶりに学校が子どもたちを迎えた日でした。確かにここまで短いようで長かった（もしくはその逆？）なのですが、個人的には、毎日いろいろなことがあって時間の感覚もなくなってしまっている、という感じです。

さて、学校が正常に戻りつつあるところで、先週から校内をいくつかの区域に分けて、エアコン清掃、窓ガラス清掃、カーテンの洗濯作業を進めています。これまでも増して清潔な環境が求められるなか、これらの作業も昨年より意味が大きいように感じます。学校全体の意識が校内環境の整備に多く注がれるようになるのは、良いことですね。

（事務局長 倉片）

たぐいま 何人？

小学部			令和2年5月29日現在				
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1年	8	8	16	4年	12	20	32
2年	21	21	42	5年	10	9	19
3年	17	12	29	6年	19	16	35
				小総計	87	86	173

中学部							
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	10	10	20				
2-1	13	9	22	中総計	30	27	57
3-1	7	8	15	総合計	117	113	230